



SHIMANE *physical* *Spirit* *therapist* —スピリット—

Vol.02 2020.12

 一般社団法人
島根県理学療法士会
Shimane Physical Therapy Association

contents

新入会員紹介
部長・研究班代表紹介
スペシャル会員
気になる会員
おすすめっ！

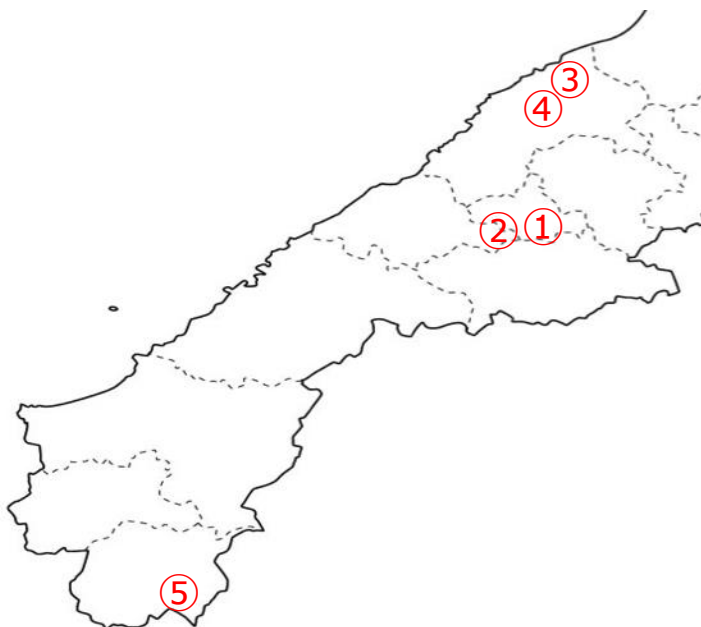
新入会員紹介

2020年の理学療法士国家試験の受験人数は12,283名で10,608名が合格しました。合格率は86.4%です。

このうち島根県理学療法士会に入会した施設会員22名を紹介します。

● ● 西部ブロック ● ●

大田市・江津市・浜田市・益田市・邑智郡・鹿足郡



①【加藤病院】おおたお ま ほ大埴真穂

②【介護老人保健施設 仁寿苑】ながいたけひろ永井雄大

③【老人保健施設 恵寿苑】かわかみなつ み川上夏実

④【大田市立病院】かね たりゅうせい金田 隆 成

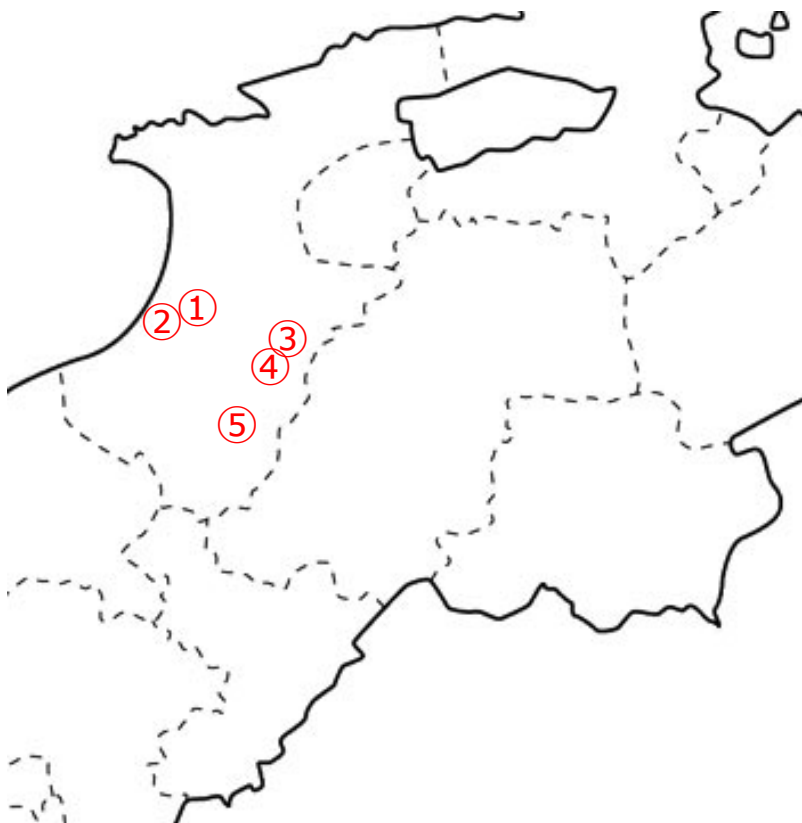
⑤【六日市病院】まえだのぞむ前田 望



中部ブロック



出雲市・雲南市・飯石郡・仁多郡



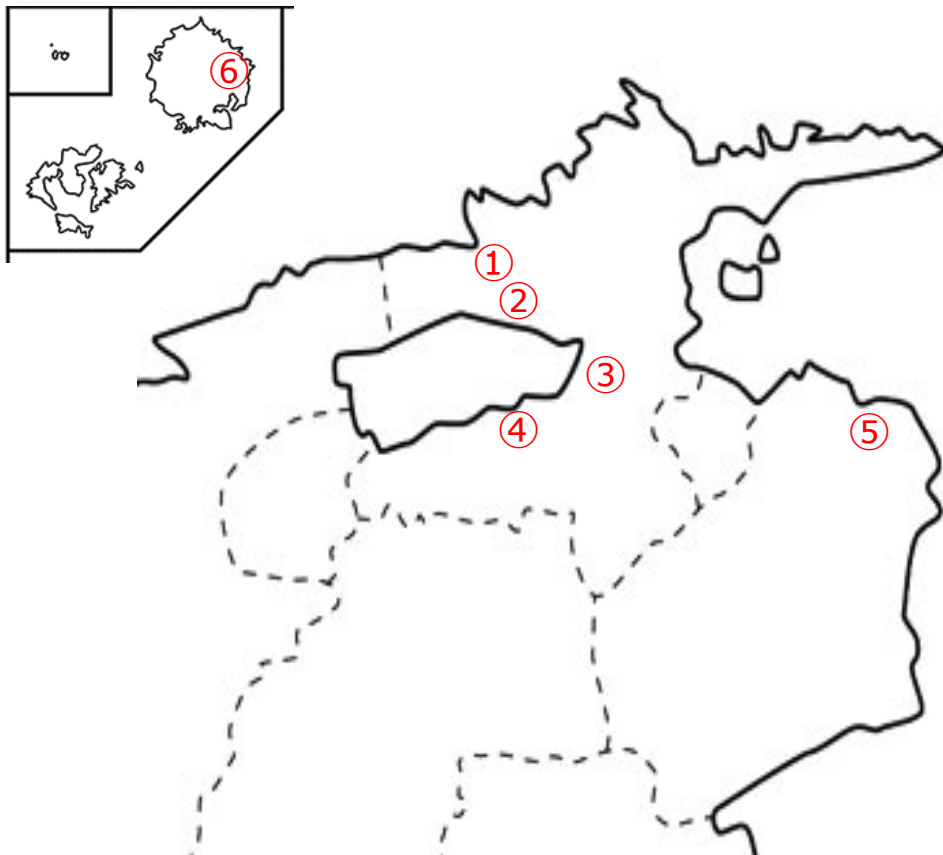
- ①【島根県立中央病院】はらちさと 原千都
- ②【介護老人保健施設 もくもく】たなかゆう 田中悠
- ③【寿生病院】ふじはら まゆ 藤原真由
- ④【寿生苑】まつもとゆうだい 松本雄大
- ⑤【ナーシングセンター ひまわり】おおくにゆめ 大国夢



東部ブロック



隠岐郡・安来市・松江市



①【東部島根医療福祉センター】やのしょうた 矢野翔太

②【松江赤十字病院】くりやまこうじ 栗山功次

③【松江生協病院】かどわきしほ 門脇史歩

④【玉造病院】いけだたかひろ 池田崇弘

⑤【安来第一病院】かのうまさや いわたになお きつかわあやか みかわわかな やまねさき 加納正也 岩谷奈穂 吉川紋加 三河若菜 山根咲季

⑥【老人保健施設 ともいきの郷】ふじたまゆか 藤田真由香

2019-2020年度

部長・研究班代表 紹介



教育部
今岡 圭
いまおか けい



研修部
足立 真也
あだち しんや



総務部
太田 珠代
おおた たまよ



学会部
野口 瑛一
のぐち あきひと



公益事業部
小林 洋平
こばやし ようへい



財務部
安食 克志
あんじき かつし



情報部
道端 ゆう子
みちばた ゆうこ



調査・身分部
嘉田 将典
かだ まさのり



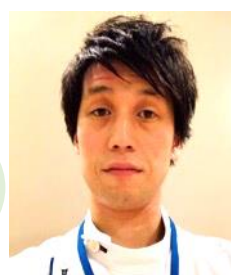
福祉部
小林 泰喜
こばやし たいき



ブロック部
廣瀬 強志
ひろせ つよし



研究部
小川 昌
おがわ あつし



生涯学習部
藤丘 政明
ふじおか まさあき



福利厚生部
野村 道徳
のむら みちのり



**呼吸理学療法
研究班**
原 祐樹
はら ゆうき



**フィットネス&
スポーツ
リハビリテーショ
ン研究班**
橋本 康平
はしもと こうへい

スペシャル会員紹介



戸山 香寿美 先生

島根県理学療法士会には臨床・研究の他に、協会活動・教育活動・地域活動などにも精力的に尽力されている会員が数多く在籍しています。そのような会員をスペシャル会員として紹介します。
第2回は 戸山 香寿美 先生です。

氏名： とやま か す み
戸山 香寿美

所属： 出雲医療生活協同組合 在宅支援センター

取得資格・役員など： 介護支援専門員
福祉用具専門相談員

Q1:県士会活動に携わるきっかけや現在までの活動を教えて下さい

なぜ県士会活動に携わるようになったのか。あまり大昔の事で、当時の事は、うっすらとしか思い出せません。最初の就職先が、玉造厚生年金病院（現在は名称も場所も変わってしまいましたが）でしたが、その頃の県士会との関わりは無いに等しいものでした。

学卒者と特例の理学療法士免許取得者が混在し、理学療法士会もまとまっていなかったと記憶しています。もうわかる人がいないかもしれませんね。

本格的に県士会活動が見えてきたのは、出雲に帰って来てからでしょうか。しかし、私一人では、ここまで長く士会活動に関わることはなかったでしょう。今は亡き元県士会長の戸山茂がいたからというのが大きなきっかけです。対して役に立たないだろうけど少しはお手伝いができれば、くらいの感じでした。学会、研修会の出張があればいつも一緒に行き、お偉い方々にも挨拶させていただきました。役得ですね。

いつの間にか福利厚生部理事として県士会のお手伝いをしていたのですが、昔の中国ブロック学会の交流会は、スポーツイベントがほとんどで、私も動くことは大好きなので調整役という事も忘れて、よく選手として参加させていただきました。中国5県の老いも若きも関係なく、みんなが本気で勝ちに行っていて盛り上がっていました。やっぱりスポーツっていいですね。障がい者スポーツも中ブロの交流会で初めて経験し、感動しました。



Q2:仕事において現在までの経緯、興味があることや力をいれておられること、資格取得のきっかけなどを教えて下さい

私が最初に入職したのは、玉造厚生年金病院（現在はもう名称も場所も変わっていますが）でした。県や市からの依頼の仕事が結構入っていて、医師と一緒に出掛けることも多い職場でした。20代で地域へ出かける仕事できたのはとてもラッキーで、その後の方向性を決める重要な時代ではなかったかと思います。今の「通いの場」のはしりのようなことを40年くらい前にしていました。今の形になるのに40年？ぞっとしますね。

学校でたての若造に何ができたかという、実際何もできていない。今思い返しても恥ずかしくて汗が出ます。若さと勘違いでその時は一生懸命その事業に取り組んでいました。

当時、学校卒業してからの教育研修制度も皆無といった状況の中で、自分で勉強したり、失敗したり、恥をかいたりの経験が今の私の宝でしょうか。

幸いなことに、現在の職場である出雲医療生協では私のわがままをずいぶん聞いてもらいました。病院の中だけでなく、外に出たいという気持ちが強く、その時代、訪問リハなどしているところはなかった中で医事課の人とどうしたらお金ももらえてリハもできるかなど研究したものです。頑張って実現しました。これも訪問リハのはしりですね。



TUGの
説明

地域に出るという事もしたい事の一つでした。市町村から、これまた機能訓練事業のはしりという感じでお願いが来た時に、病院に頼みこんで出させてもらいました。一人職場で私が外に出ると病院の収入減につながるのはわかっていますが、目先の利益より優先するものがあるのかなんとか言って、説得したような気がします。そして、地域の中で動くには、介護支援専門員や福祉用具専門相談員という資格が必要と感じ取らせてもらいました。

Q3: とてもお忙しいと思いますがワークライフバランスや息抜きなどについて工夫しておられることがあったら教えてください

昔から頭を使うより体を動かすことが大好きでした。中高とバレーボールを続けていたので専門学校時代も、その地域（大阪）でされていた勤労者青少年のチームに入れていただきストレス発散していました。就職してからもバレーチームがあり、病院対抗バレー大会には毎年参加し、太田会長とはライバル関係でとても熱い戦いをしていましたね。



職場で
全国大会優勝
(4年前)

地域では、コミセンの体協理事として多種多様のイベントに参加しました。小学生の一泊体験交流でスケートに行ったり、コミセンでの高齢者のハイキングのお手伝いや、ウォークラリーや障がい者スポーツのお手伝いや、運動会、その他といった具合で、息抜きにはならないかも。でも生涯スポーツという意味を、地域で教わったという実感です。

マラソンに誘われたのは40歳過ぎてからです。一人で走るマラソンと、みんなでつないで走る駅伝は、全然違うもののように感じました。でも仲間がいる事でとても楽しいというのは共通していました。仲間を応援する、自分を応援してくれる人がいるって本当に大事なものですね。えびす大黒100kmマラソンというのが毎年5月頃に行われるのですが（今年はコロナで中止）10年以上参加しています。毎年ラストスパートを仲間4人で手をつなぎゴールして、毎回人目もはばからず泣いてます。そしてその後の定例焼肉飲み会でもまた泣いて。

こんなおばばになっても毎回感動の涙が出るなんてありがたい。一緒に泣いてくれる仲間がいてありがたい。と、また「吠え吠え」（泣くという意味ですよ）たたえあってます。



Q4:若い会員や地域の方にメッセージをお願いします

【若い会員の皆様へ】

私の若いころは、いいも悪いも、何も無い単純な時代でした。少しずつ整備されてきて今や、飽食の時代、あふれ出るものの中から何を選び何をを目指すのか。ある意味、私達の時代よりも大変なのかも。でも、その恵まれた環境を利用してしっかりと自分の望むものを選び取ってください。迷ったら、あなたの周りに経験を積んだ先輩や、同じ悩みを持つ仲間がいます。私達が歩いて道になったところから、今度はあなたたちが新たな道を作っていくてください。ついていきますよ。

【地域の皆様へ】

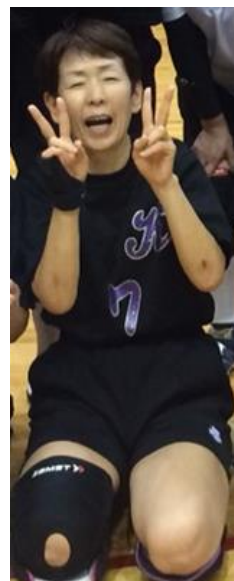
私が就職したころは、理学療法士って何をする人？という認識でしかありませんでした。今はもう「病院でリハビリする人」だけでなくいろんな施設、地域にいて「この町で一緒に健康を守ってくれる人」でもある、というようなとらえ方をしてもらっているでしょうか。もっともっと元気で暮らすためには、とご相談いただければ私たち理学療法士が全力で支援したいと思います。是非お声がけください。

グダグダと書いてしまいましたが、ご容赦ください。

皆さん信じられないでしょうが、年をとっても、理学療法士としてだけでなく、人間としても、まだまだ成長したいという気持ちは強くあり、それが地域の中ですこしでも役立てばと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

今現在です。元気！





情報部が
勝手に推薦

気になる会員①

2020年6月13日現在、島根県理学療法士会会員は758名となりました。会員同士がより顔の見える関係になることを目的に、経験年数10年前後の気になる会員を紹介します。先輩世代、同世代、後輩世代それぞれ刺激しあいましょう。

Q1:理学療法士をめざした理由を教えてください

母が理学療法士でしたので、幼少期からこの職業に対する認識はありました。中学生の頃には既に理学療法士になる事を意識していたと思います。ただ目指した理由は？と聞かれると、「なんとなく」というのが本音です。そのような気持ちで入学した養成校の4年間はとても苦労しました。そんな中でも人との出会いには恵まれ、養成校時代の恩師や就職先の先輩の影響で理学療法士という職業の素晴らしさを教わり今に至ります。

Q2:仕事で興味があることや力を入れておられることを教えてください

松江生協病院は、ケアミックス機能を有しているため、急性期から維持期まで多様な病期、疾患が理学療法の対象となります。個人的には運動器疾患に興味があり、2015年に認定理学療法士（運動器）を取得しました。主に整形外科疾患の術後や疼痛領域の診療に当たることが多いです。

また、当院で2018年より開始となった骨粗鬆症リエゾンサービスの立ち上げに携わり、現在はその運用を任されています。



ほりうち しゅうたろう
堀内 秀太郎 さん

松江生協病院
経験年数：11年目

Q3:仕事を通じて思うことや今後の展望について教えてください

医療機関における理学療法の対象は、既に何らかの疾病に罹患した方が対象となります。目の前で苦しんでいる患者さんを前に、この状況をどうにか回避できなかったか？という事を常々感じていました。そういった経験から疾病予防について考えるようになりました。現在は骨折症例に対して骨粗鬆症の教育的介入を実施し、再骨折予防を図る取り組みを行っています。今後は近隣の医療機関や行政に働きかけ、松江市の骨粗鬆症診療の発展に貢献したいと考えています。



情報部が
勝手に推薦

気になる会員②

Q1:理学療法士をめざした理由を教えてください

私は小さい頃からおじいちゃんおばあちゃんっ子で、いずれは高齢者に関わる仕事がしたいなとぼんやり考えていました。高校1年生の夏に私の祖父が脳梗塞で倒れ、私は祖父のリハビリをするところを見学し、そこで祖父に寄り添い、一緒に頑張っておられる理学療法士さんを見て、私も理学療法士になりたいと思うようになりました。

Q2:仕事で興味があることや力を入れておられることを教えてください

雲南圏域の主要病院として、主に整形外科オペ後などの急性期やリハビリ目的で雲南市立病院に帰ってこられた患者様に対しリハビリテーションを提供しています。地域柄、高齢独居や老々介護などのご家庭も多く、患者様や家族様を含め、チームでしっかりと話し合うことや情報共有して、幅広くコミュニケーションを取り、適切なリハビリテーションを提供できるように日々努力しています。



に ぼ し な つ み
二 星 奈 津 実 さん

雲南市立病院
経験年数：9年目

Q3:仕事を通じて思うことや今後の展望について教えてください

何年経験年数を積んでも、これで良かったのか、もっと何かできたのではないかと毎日自問自答しながら日々を過ごしています。それでも目の前の患者様に喜んで頂けるよう、できるだけ楽しくリハビリが出来るように努力していきたいです。

新型コロナウイルスもあり、なかなか形にできていませんが、当院産科の看護師と共同で行っている妊婦さんへの妊婦体操の提供や、地域に出かけての出前講座などを行い、もっと地域に貢献していけたらと思います。



情報部が
勝手に推薦

気になる会員③

Q1:理学療法士をめざした理由を教えてください

私が理学療法士を目指した理由は、中学生までは別の夢を追いかけていましたが、高校の時に挫折し、進路に悩んでいる最中、たまたま利用した汽車の駅の構内の掲示板にリハビリテーションカレッジ島根のポスターが掲示しており、何気なく参加したオープンキャンパスがきっかけでした。そこで、多種多様な疾患に対してリハビリを施行し、患者さんや家族の夢を共に実現していけることに感銘を受け理学療法士を目指すようになりました。

Q2:仕事で興味があることや力を入れておられることを教えてください

公立邑智病院は邑智郡唯一の救急告示病院であり急性期と回復期の2病棟では、実に多種多様の疾患の患者さんに対してリハビリを行っています。その中でも特に脳血管リハビリテーションに興味があり県内外のボバース講習会や認知運動療法、活動分析研究会などの脳血管関連の研修会に多数参加し知識や技術の習得、またそこで得たものを日々臨床で実践、応用に励んでいます。



もりわき まさたか
森脇 正貴 さん

公立邑智病院
経験年数：5年目

Q3:仕事を通じて思うことや今後の展望について教えてください

近年、厚生労働省は介護予防や地域包括ケアシステムの重要性を示しています。その中で理学療法士である私にできることは何かと日々考えております。当院のある邑南町は高齢化率40%以上を占めており超高齢化社会に直面しています。私は2年前より地域包括ケア病棟（回復期）専従者として多職種間での情報が共有できるツールの作成や運用、point of careの確立にむけ日々精進しています。今後は退院支援に向け多職種間や院外の関連機関とのつながりを構築していければと思っています。

おすすめっ！

映画

理学療法を行う上で何かしら役に立つものを紹介する
コーナーを始めます
今回は理学療法に関連する映画や疾患を取り上げた映画
をご紹介します

栞

ストーリー

理学療法士の経歴を持つ監督が
メガホンを取り、理学療法士時
代に経験した出来事を基に物語
が紡がれる。

理学療法士として患者に寄り
添う主人公が、苦悩しながらも
前進する姿を映し出す。

感想



今までは医療ドラマでも映画でも理学療法士の出番は少なかった。他の医療職が主役で
理学療法士は少し出てくる程度のものが多い。

この映画は理学療法士が主役というだけでなく、監督が元理学療法士であるという点で
貴重な映画であると感じる。

みなさんも患者さんとの間に小説になりそうなエピソードがいくつか浮かぶのではない
かと思う。他の医療職に比べると患者さんとともに過ごす時間が長く、今までの生活
とこれからの生活と一緒に向き合うことが多いと感じる。その中で「生と死」「人生
観」「大事な場面」に触れることがあり自分の糧になることがある。

この映画には理学療法士なら「あ、あるある」と思える場面が多い。映画で描かれると
客観的に見えるので、医療者の歯切れの悪い言い方が気にかかる。患者さんはこう言っ
て欲しいだろうなと感じる一方で、歯切れの悪い言い方になってしまうのもよく分かる。
ところどころ「！？」と思う場面はあるが、監督は会見の場で「ドラマチックにするた
めではなく、実話にもとづいている」とお話されていたため、こんな現実があったのか
と思うと深く考えさせられる。

歩けない僕らは

ストーリー

「元の生活に戻れますかね？」と聞く患者に何も答えられない主人公。リハビリ期間が決まっている中でベテラン理学療法士と同じ成果が出せず責任を感じる姿などを描く。

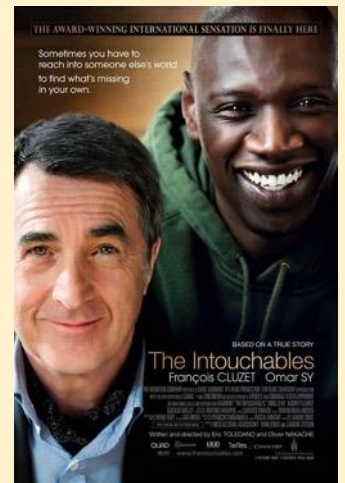


感想

最強のふたり

ストーリー

感想



感想

交わらなさそうな二人だけど、お互いに特別扱いや偏見がなく違いを楽しむ気持ちがあったからいつのまにか信頼が生まれたのかと感じた。人のことにレッテルを貼ることがないよう気をつけようと考えさせられたし、「できない」と思い込まない大事さも感じた。涙を誘うような作り方はされておらずどちらかというコメディの要素もある作品。あっという間の3時間で所々に出てくる下ネタに笑うか引くかはあなた次第。

ギフト 僕がきみに残せるもの

ストーリー

難病ALSを宣告された元NFLのスター選手が、やがて生まれてくる息子に贈るために撮影しはじめたビデオダイアリーが世界中を感動させるドキュメンタリー映画になった。

感想



実在する人と家族のドキュメンタリーであることが貴重な作品。発症前から最新映像まで何年にもわたりカメラが日常をとらえている。定点カメラの映像が淡々と流れている場面もあり、病気の当事者や介護者も聖人ではいられない現実がつけつけられる。思いがあっても気持ちに余裕がない時やタイミングが合わない時に悪い方向に進んでしまいそうでヒヤヒヤする場面もある。ぎくしゃくしてしまった家族に対する気持ちを正直に話している場面もあり、病気のこと以外も考えさせられる。見返すたびに登場人物のそれぞれ人の気持ちにフォーカスをあてると新しい発見がありそう。

今回は映画を取り上げましたが、理学療法士が出てくるテレビドラマなどもあります。疾患をテーマにした映画はまだあります。ドラマチックに描かれ、現実離れしている面もあるかもしれませんが共感する部分や新たな視点が見つかるかもしれないのでおすすめです。

- 私たちの宣戦布告
- セッションズ
- 17才のエンディングノート
- ガチボーイ
- サヨナラの代わりに
- 翼は心につけて
- 博士と彼女のセオリー
- ボクが病気になった理由
- ウィニングパス

など

編集後記

「もっと地域の皆様に理学療法士を知っていただき、元気のためにプラスになる冊子を提供したい」という思いと「もっと島根県理学療法士会の会員のつながりを深めたい」という思いから2019年に県士会ニュースをリニューアル致しました。

会員向けの冊子「SPiriT（スピリット）」はラテン語で「魂」「勇気」「活気」の他に「呼吸」「息」という由来を持つ言葉であります。会員の息使いを感じ、勇気や活気が湧くような冊子にしたいという願いを込めて名付けました。

年1回のペースでホームページへの配信を予定しております。

至らない点が多々あると思いますが、是非ご意見、ご感想をお聞かせください。

ご協力をお願い

- 施設紹介、気になる会員、スペシャル会員などの原稿依頼をさせていただきます。ご協力をお願い致します。また、「あの施設が知りたい」「あの会員に依頼して欲しい」というご要望がありましたらお寄せ下さい。
- 地域の方向けの冊子「まめっぴ」、会員向けの冊子「SPiriT」とともに表紙の写真を募集致します。理学療法をイメージできるような、気持ちが和むようなお写真の投稿をお待ちしております。個人情報には十分ご配慮いただき、掲載の承諾を得た写真をお願い致します。
- 日々の仕事に役立つアイテムなどのおすすめ情報をお知らせください。従来は勉強になる書籍が主に紹介されることが多かったと思いますが、サイトやアプリなどの情報もお待ちしております。情報部などで判断し、掲載させていただきます。

お問い合わせは下記までお願い致します

【お問い合わせ先】

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部

島根県理学療法士会 情報部 道端ゆう子

メール：yukoyuko.t33@gmail.com